

多数傷病者事案における MC の重要性への考察

兵庫県災害医療センター長
中山 伸 一

(神戸市保健医療審議会医療専門分科会メディカルコントロール検討委員会 会長)

究極の Prehospital の現場活動は災害現場である。

それは、いわば救急救命士をはじめとする複数の救急隊とドクターカー
ドクターヘリクルーや DMAT などの医療チームが混在しての総力戦だ。

とすれば、災害現場でのメディカルコントロール(以下 MC)は当然あってしか
るべきで、しかも医師による救急救命士に対する MC のみならず、複数の医療
チーム間での MC という概念も求められる。単なる特定行為の指示だけにとら
われない、言い換えると限られた医療のヒューマンリソースをいかに活用する
かの視点に立ち、医療と消防が互いに連携協力することを目指す、それが災害
現場での MC とも言える。

ここでは、阪神間で発生した人為災害の実例として JR 福知山線列車脱線事故
をとり上げ、人為災害時の MC のあり方について、その困難性を含め考察する。